

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	27	学校名	静岡県立富士宮東高等学校	校長名	鈴木 香
------	----	-----	--------------	-----	------

1 スクール・ミッション

普通科（普通コース・芸術コース）と福祉科を併置した地域と共に歩む伝統校として、学科やコースの特色を生かしたきめ細やかな教育を通して、心身の健康・豊かな知性と感性・主体性を育み、地域貢献や目標実現のために努力し続ける人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー

【育てたい人間像】

- 価値観が多様化する社会で生き抜くための**確かな学力**と、信頼される社会人となるための**自己管理能力**を備えた、自分を磨くための**探究力**を持った人
- 多様な他者を尊重し、互いの意見を**傾聴**するとともに自らの考えを適切に**表現**しながら**協働**することにより、人とつながりながら物事を成し遂げることができる人
- 未来の幸せな地域社会をつくるために、広い視野を持ち、**主体的**に挑戦をしていく**行動力**を持った人

【育てたい力（宮東力）】

- 基本的な知識技能を身に付け、場に応じてそれを活用する 『**確かな学力**』
- 挨拶や礼儀、時間管理など基本的な社会性と自己を管理するための 『**自己管理能力**』
- 自己の興味関心を深め、物事を理論的に考えて本質を見抜こうとする 『**探究力**』
- 多様性を認め、他者と力を合わせて課題に取り組む 『**協働力**』
- 他者を深く理解するために共感を持って話を聞く 『**傾聴力**』
- 自分の考えや意見を他者にわかりやすく論理的に伝える 『**表現力**』
- 自ら目標を設定し、自分の意志や判断で目標を達成しようとする 『**主体的行動力**』

カリキュラム・ポリシー

【普通科】

- (1) 文系・理系の枠にとらわれない、興味・関心に基づいた探究的学習を実践します。
- (2) 生涯を見通したキャリア形成力を育成し、個々の進路希望に応じたきめ細やかな指導を行います。
- (3) 地域社会での特別活動やボランティア活動等、校外での学びを推進します。
- (4) アートコースでは、美術に関する知識・技能と豊かな感性を育てます。

【福祉科】

- (1) 確かな基礎学力を培い、実習を通して実践力を身に付け、地域社会に貢献しようとするあたたかな心を育てます。
- (2) 介護、看護・医療を中心に、個々の進路希望に応じたきめ細やかな指導を行います。
- (3) 地域社会での特別活動やボランティア活動を通して、自己有用感を高め、人の役に立つ喜びを醸成します。

アドミッション・ポリシー

- (1) 自分の可能性を信じ、校内外の様々な活動を通して、自己の進路を積極的に模索しようとする意志を持つ生徒
- (2) 多様な考え方を持つ人と関わり、広い視野を持ちたい生徒
- (3) 地域を愛し、人の役に立ちたいと考える生徒
- (4) 美術が好きで、感性を磨きたい生徒
- (5) 目標高く部活動に取り組み、学業との両立を目指す生徒

様式第1号

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的生活習慣の確立を図る。
- イ 基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。
- ウ 主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。
- エ 進路選択に関する指導の充実を図る。
- オ 学科やコースの特色を生かし、福祉の心や豊かな感性を醸成する。
- カ 地域を愛する心を育てるとともに、地域・保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。
- キ 安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備に努める。
- ク 常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的生活習慣の確立を図る。	高校生として好ましい生活・学習習慣を身に付けるための指導を行い、高校生活の充実を図る。	高校生としての生活・学習の習慣が身についたと答える生徒90%以上	学年 教務課 生徒課
			しっかりと準備をして定期試験に臨めたと答える生徒70%以上	学年 全員
		「明るい挨拶」、「時間管理」、「身だしなみ」、「約束を守る」、「連絡・報告・相談」の指導を徹底する。	基本的生活習慣を身に付けるための適切な指導がされていると答える生徒・保護者95%以上	全員
		交通ルール遵守の意識を高めるとともに、登下校時の安全の徹底を図る。	交通安全に関する講座等年2回以上	生徒課
			交通ルールが守れていると答える生徒100%以上	
		教育相談体制の充実と関係職員間の連携強化を図り、いじめ根絶・不登校予防・特別支援教育を推進する。	各種アンケートやハイパーQUTテストの結果による面談等の実施	生徒課
教育相談チームの情報共有月1回以上				
イ	基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。	育てたい力（宮東力）を意識するとともに、ICT機器を活用する等、分かる授業・楽しい授業のための授業改善を行う。	授業が分かると答える生徒95%以上	教務課
			生徒の宮東力自己評価向上	
			授業改善のための授業参観・校内研修等、年間3回以上	
		「高校生のための学びの基礎診断」測定ツールを活用し、正しい学力把握と指導改善を行う。	スタディーサポートにおける国数英総合判定でC1以上の生徒50%以上	進路課
		「桜丘タイム（総合的な探究の時間）」を組織的・体系的に展開し、探究活動の充実を図る。	探究力が向上したと自己評価する生徒60%以上	企画 メディア課
			探究チームの企画会議月1回以上	
		自主的な家庭学習習慣が身につくよう、適切な課題を計画的に設定し、継続的に粘り強い指導を行う。	自主的な学習の習慣が身についたと答える生徒85%以上	教務課
課題の量と質が適切であったと答える生徒70%以上・教員80%以上				
朝読書を活用し、読書推進に努める。	興味を持てる本に出会えたと答える生徒50%以上	企画 メディア課		

様式第1号

ウ	主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。	生徒会、委員会、学年、クラス等での生徒主体の活動機会を増やす。	生徒会や委員会・係活動を通して、集団に貢献することができた答える生徒 90%以上	生徒課
		桜丘祭等、生徒主体の学校行事の充実を図る。	学校行事に積極的に参加したと答える生徒 95%以上	
		部活動への主体的取組により達成感と自己有用感の醸成を図る。	部活動に積極的に参加したと答える生徒 95%以上	
		地域との連携やボランティア活動への参加を推奨する。	地域との連携やボランティア活動へ参加する生徒 70%以上	生徒課 企画メディア課
		「1部活動1ボランティア活動」とし、主体的に地域と関わる姿勢を養う。	実施部活動率 100%	生徒課
エ	進路選択に関する指導の充実を図る。	生徒の主体的な進路目標達成を支援できるよう、教職員の進路指導スキル向上を図り、多様な進路に対応できる、個に応じた進路支援体制を強化する。	進路目標達成のために努力していると答える生徒 90%以上 進路指導に満足していると答える生徒・保護者 90%以上 特進サポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上 キャリアサポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上	進路課
		進路シラバスや教育支援ツールを有効に活用し、3年間を通じた計画的な進路指導・支援を行う。	進路シラバスや教育支援ツールを面接や生活・進路指導に活用した教員 80%以上、生徒 80%以上	進路課
オ	学科やコースの特色を生かし、福祉の心や芸術に親しむ豊かな感性を醸成する。	福祉の重要性を理解し、生涯にわたって地域福祉や福祉社会に主体的に取り組む心を育てる。	福祉フェアの来場者、前年比増 地域・施設・他校との連携年5回以上	福祉科
		福祉科の実習への主体的な取組と介護福祉士国家試験への実践的な指導を行う。	介護実習が充実していたと答える生徒 100% 介護福祉士国家試験の合格率 100%	
		美術の専門的な知識・技能を身に付け、感性を育むとともに、進路目標を達成するための個別指導を行う。	進路実現目標達成率 80%以上 校外作品展・コンテスト等への出品率 100%及び受賞 20 件以上	アートコース
		アートコースの魅力を広く浸透させ、地域に根ざす特色ある教育活動を展開する。	アートコース作品展への来場者 700 名以上 地域機関からの依頼作品作成及び地域との連携 5 件以上	

様式第1号

カ	地域を愛する心を育てるとともに、地域や保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。	保護者との連携を深め、多様な媒体を用いて学校の情報や魅力を効果的に発信する。	学校からの情報発信を通して、学校での生徒の様子がわかると答える保護者 80%以上 学校HPやSNSによる情報発信 年500回以上	総務課 企画メディア課
		中学生1日体験入学やオープンスクール等の内容の充実を図る。	参加してよかったと答える参加者 80%以上	企画メディア課
キ	安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備・美化に努める。	防災訓練の充実を図り、防災意識を高め、日常の行動変容につなげる。	災害時の学校の対応を理解し、自分にできる準備をしていると答える生徒 95%以上	総務課
		毎日の清掃活動とゴミの分別の推進を通して、持続可能な環境や社会への意識を高める。	校内美化が保たれていると答える生徒 90%以上	生徒課
		定期的な施設設備点検を行い、危険個所の周知や改善に努める。	学校の施設設備は安全に配慮されていると答える生徒 95%以上 施設設備に係る生徒事故0件	事務
ク	常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。	業務改善により生徒と直接かかわる時間を確保し、生徒理解に努め、生徒とより良い信頼関係を構築する。	信頼できる先生がいると答える生徒 90%以上	全員
		教職員のコンプライアンス意識を高める。	教職員不祥事0件	管理職
		教職員が協働意識を高め、やりがいを持って魅力ある学校づくりに努める。	教職員ストレスチェック結果の向上	
		教職員のワークライフバランスの実現を推進する。	定時退勤日の設定 夏季休暇取得率 100%	

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。